

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
管理会計論 I	共通	3・4年生・前期	2	選	木下勝一
履修の前提条件	簿記会計の基本的な知識を前提として講義を行うので、「会計学入門」、「簿記」、「財務会計論」の単位を取得していることが望ましい。また、後期の「管理会計論II」の履修をすることが前提である。				
授業概要 (Course Outline)					
本授業科目は、企業経営の計画・管理、戦略立案のためのツールと理論について、コスト情報、損益分岐点分析、活動基準管理、意思決定、企業戦略、キャッシュフロー管理の分野を学習する。財務会計と管理会計の情報提供機能の違いについて、具体的な事例分析を示しながら講義を進めていく。このため、会計情報が経営管理に果たす役割を個々の経営管理手法を通じて理解を深めることが本授業科目の狙いである。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				○
	情報リテラシー Information Literacy				○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
本授業は、企業における意思決定と業績管理のための情報提供システムであるコストの会計情報とコスト以外の非会計情報の統合的な把握のための様々な経営管理手法を学ぶことを通じて、日本型経営管理のための具体的な技法を習得する。このため、狭い意味における原価計算手法だけでなく、広義の意味における経営管理のための会計技法を理解することができる。					
事前学習の内容	毎回の授業の終わりに次回の指定テキストの講義範囲を指示するので、前にテキストを読んでおくこと				
事後学習の内容	毎回の授業のなかで、指定テキストのキーワードを指示するので、自宅学習の際に復習すること。適宜、授業のなかで、キーワード自習の確認を行う。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
本授業の内容について、個別事例研究のための課題レポートを作成することを指示するので、指定日時に、ワープロ文書のレポートを提出することを義務づけます。また、授業の進展に応じて、重要な専門用語についての確認小テストを実施し、受講生の理解度をチェックするとともに、対話型の解説を行う。さらに、本授業に対するコメントカードを配布するので、質問、疑問、意見等々について、積極的な発言を期待します。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
問い合わせ、相談等は研究室(455)において、随時受け付けます。また、オフィスアワーは、月曜日4限目、火曜日2限目ですが、事前にメール(kinoshita@kiis.ac.jp)で照会してください。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験: 日本商工会議所簿記検定試験3級の受験を奨励します。また、試験合格の結果を成績評価の際に考慮します。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日時に、木下までメールで提出してください。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	管理会計を学習する意義ー簿記会計との関連で管理会計とは何か。		
第2回	管理会計のフレームワークと発展過程		
第3回	原価計算基準ー目的と原価計算制度の概要説明		
第4回	戦略的コストマネジメント		
第5回	損益分岐点分析と短期利益計画		
第6回	CPA分析		
第7回	中間テストー専門用語等の理解度テストの実施		
第8回	活動基準原価計算(ABC)		
第9回	活動基準マネジメント(ABM)		
第10回	意思決定とコスト情報		
第11回	全社戦略と管理会計		
第12回	事業戦略の策定と分析技法		
第13回	戦略的代替案		
第14回	投資意思決定のためのキャッシュフロー管理		
第15回	管理会計論 I のまとめ		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
管理会計・入門	浅田孝幸	有斐閣	
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験(40%)、中間試験(20%)、課題レポート(20%)、確認小テスト(10%)、平常点(10%)を総合して評価する。キーワード自習の確認は平常点のなかに含める。			